

2009 年度受託研究概要報告

産学連携による『ものづくり』支援事業
「多可のひのき木綿」を中心とした地元産品の商品開発、および販路開拓研究

研究メンバー

野口正孝	デザイン学部ファッションデザイン学科教授
大田尚作	デザイン学部プロダクトデザイン学科教授
瀬能徹	デザイン学部ファッションデザイン学科准教授
安森弘昌	先端芸術学部造形表現学科准教授
泊里涼子	デザイン学部プロダクトデザイン学科実習助手

委託者

多可町商工会

研究概要

多可町の地場産業である林業と播州織という異なる産業を結び付け、檜の間伐材を利用した木工製品と檜のおが粉を練り込んだ「ひのき木綿」を融合させた商品の研究と開発をライフスタイル提案の中で行い、そのブランディング提案を行った。

1. 「ひのき木綿」の紡績、織布の開発
2. 森のイメージを生活に取り込むライフスタイル提案の中でひのき木綿を用いたリビングシーン、ダイニングシーンにおける生活雑貨、ファブリック製品、ファッション雑貨の開発
3. ひのきの間伐材を用いた家具、生活雑貨の開発
4. 「ひのき木綿」の製品化に関わるブランディング

研究成果

リビングシーン、ダイニングシーンにおける家具、生活雑貨、ファッション雑貨、等の開発。

「第7回グルメ&ダイニングスタイルショー春2010」(2010年2月3～6日)に出展。



図1 ロゴマーク



写真1 ダイニングシーン展示の様子



写真2 生活雑貨、ファッション雑貨等展示の様子



写真3 ブース外観の様子